

年頭のご挨拶

日本アイ・ビー・エム健康保険組合



被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、日頃より当健康保険組合の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症の発生から約2年がたち、被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、生活環境の大きな変化への対応を行いつつ、改めて「健康に生活すること」の大切さを実感されている方も多いと拝察します。

わが国は加速する高齢化に伴うさらなる医療費の増加が見込まれています。いわゆる「団塊の世代」が本年より75歳に到達し、続々と後期高齢者に移行することで、現役世代の高齢者医療費負担が限界に達し、国民皆保険制度そのものの存続が危ぶまれている状況です。当初「2022年危機」と呼ばれていたこの構造変化は、新型コロナウイルス感染症の発生により実質1年は前倒しになっているという指摘もあり、事態はすでに深刻なものとなっています。

こうしたなか一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担を2割へ引き上げる法改正が昨年成立し、来年度後半に施行される予定となっております。しかし、改革内容は現役世代の負担を軽減するためには決して十分とはいえず、一刻も早く抜本的改革を望むものです。

当健康保険組合では引き続き重症化予防を見据えた保健事業を推進してまいります。病気の早期発見あるいは重症化予防には定期的な健康チェックとその結果を活かした日々の健康管理が大きな鍵となります。当健康保険組合がご案内する各種健診事業は、そうした鍵を強固にする助けとなるものと考えます。健康であれば必要以上に医療機関にかかることもなく、医療費の節減にもつながりますので、ぜひとも積極的にご活用いただき、健康を維持されますようお願いいたします。

みなさまが、すこやかな1年をお過ごしになられることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。